

MELSOFT Library サンプルラダー使用方法

本書は、MELSOFT Library サンプルラダーをお客様のプロジェクトに流用するための手順をまとめたものです。

《 目次 》

1. GX Works2 の場合	3
2. GX Developerの場合	8

改定履歴

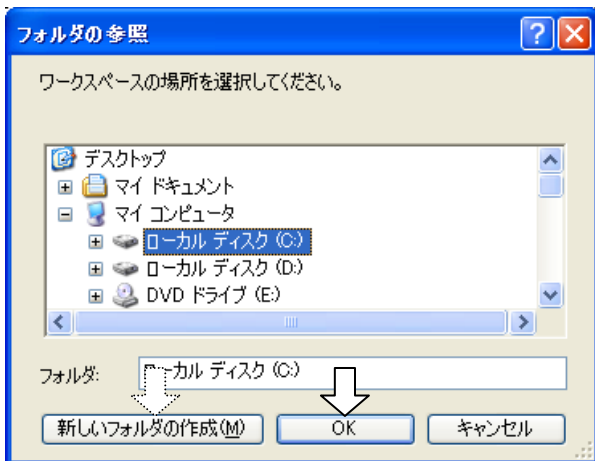
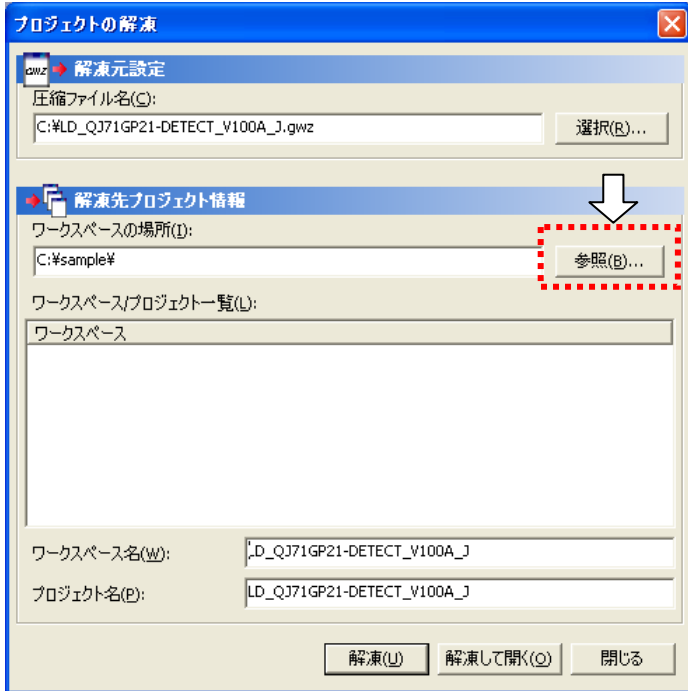
[illegible]

1. GX Works2 の場合

(1) GX Works2 用 zip ファイル解凍し、gwz ファイルをダブルクリックします。



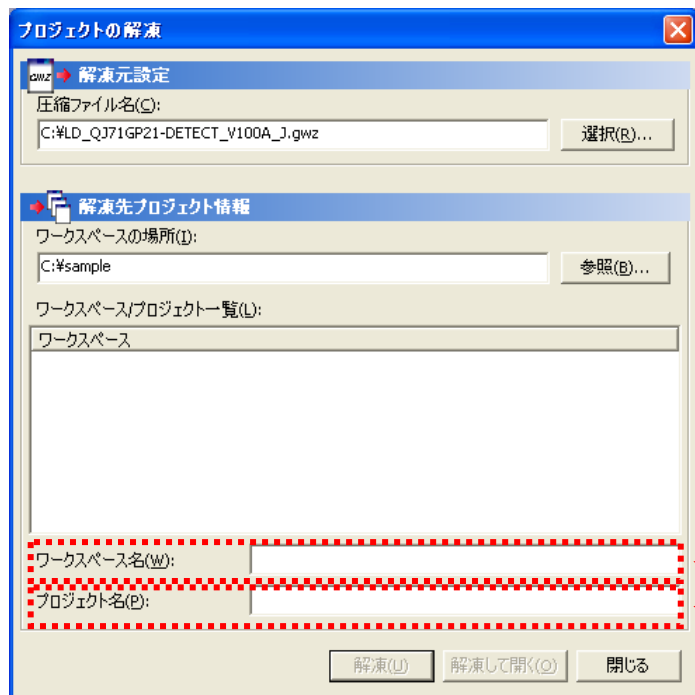
(2) プロジェクト解凍ウインドウにてワークスペースの場所を選択します。



該当フォルダを選択し“OK”を押下↓します。
新規にフォルダを作成する場合は、“新しいフォルダの作成”ボタンを押下↓し、フォルダ設定後“OK”を押下ください。

(3) 名前設定

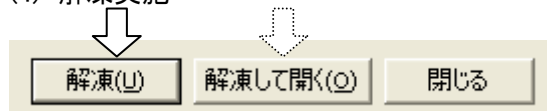
ワークスペース名とプロジェクト名を記入してください。



解凍するワークスペース名を指定ください。

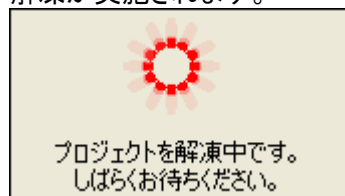
解凍するプロジェクト名を指定ください。

(4) 解凍実施

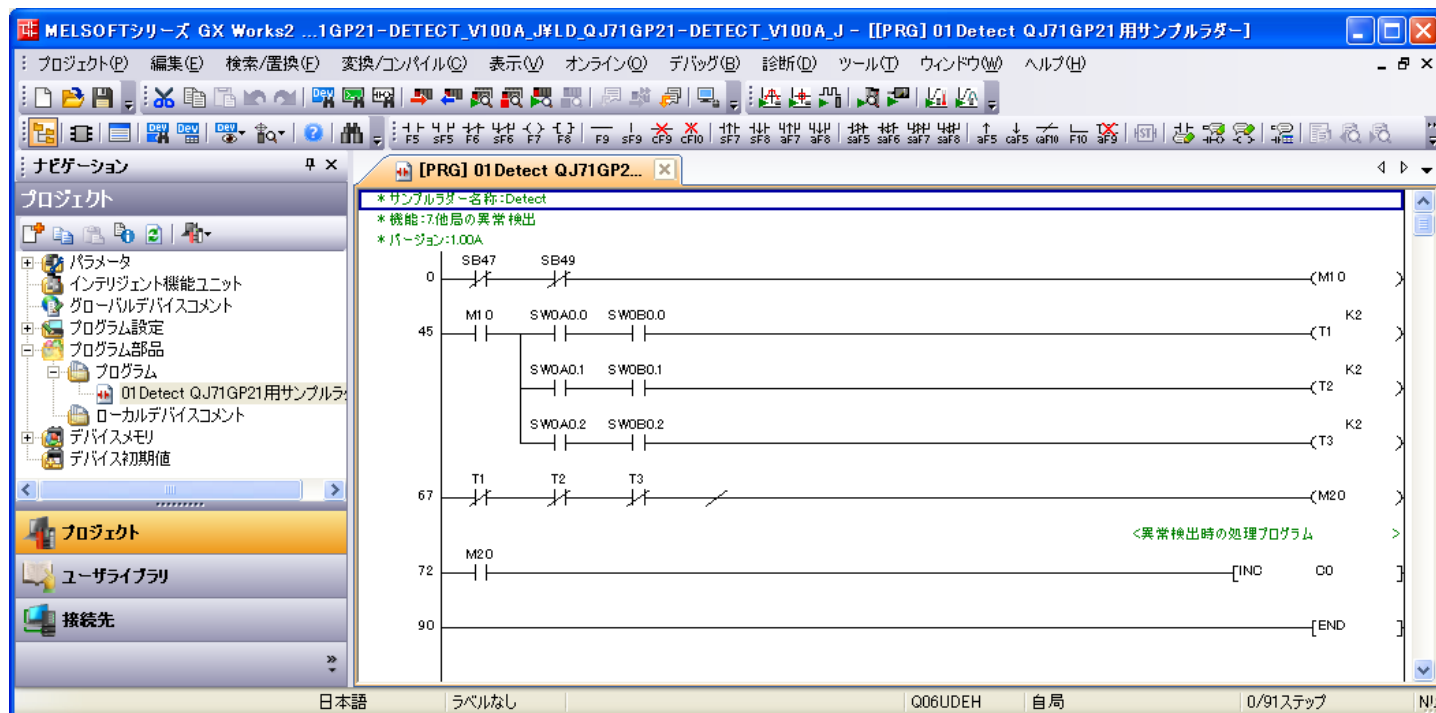


解凍のみの場合は、“解凍(U)”を押下↓、解凍かつプロジェクトを開く場合は“解凍して開く(O)”を押下↓してください。

解凍が実施されます。

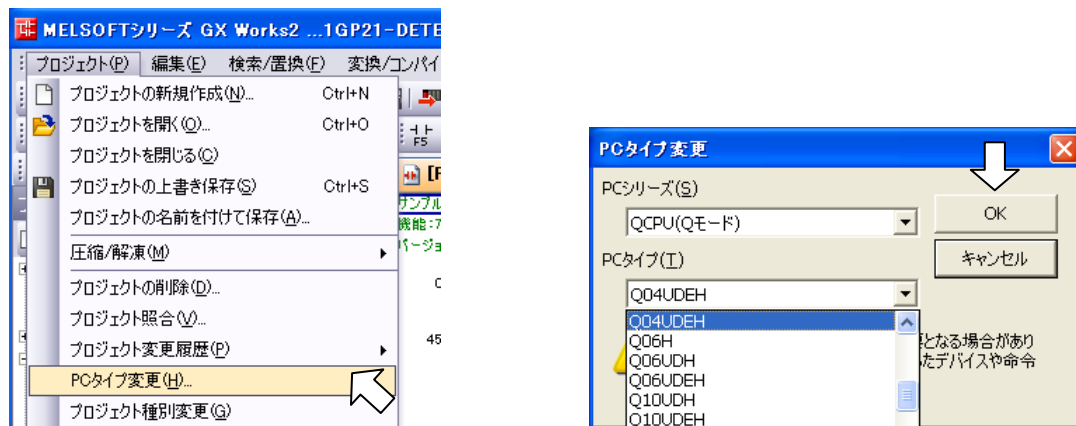


(5) 解凍されたサンプルラダーのプロジェクトを開きます。



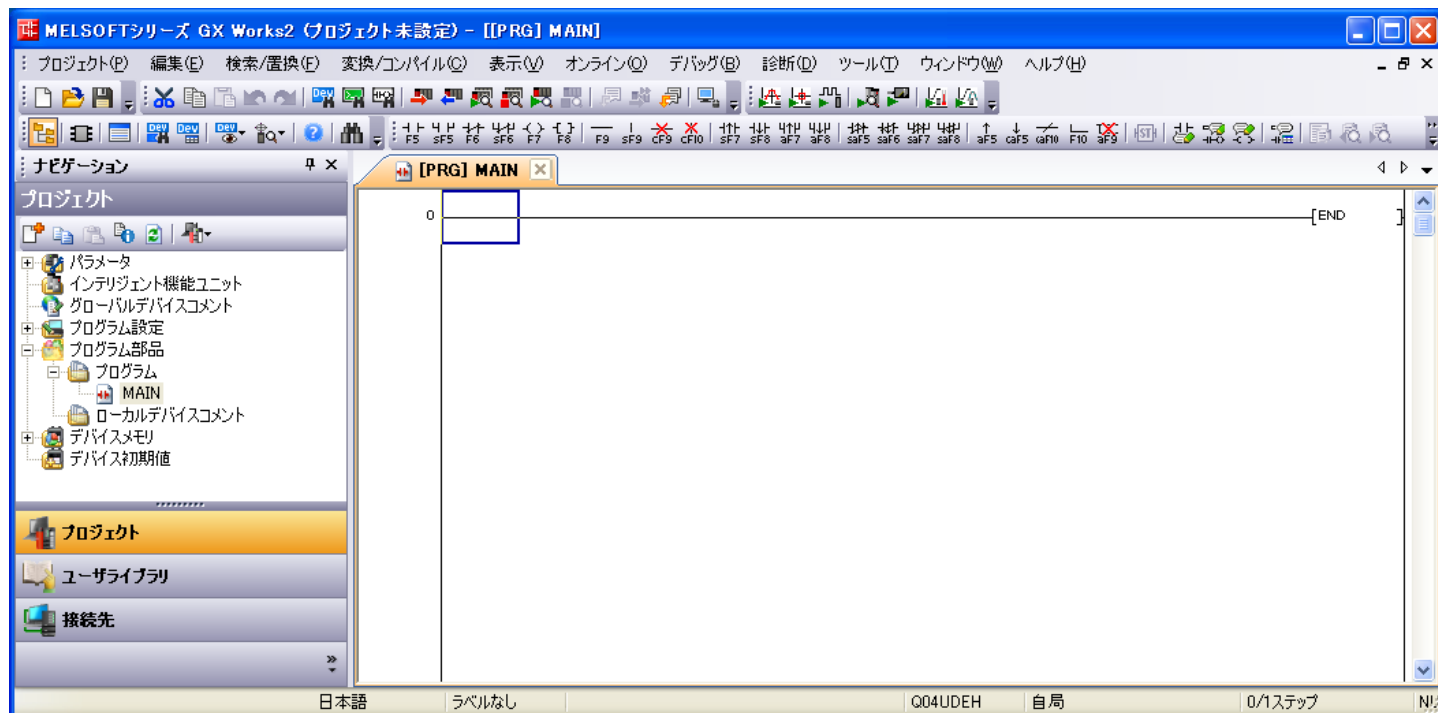
(6) PC タイプ変更

流用先のプロジェクトと同じ CPU タイプにサンプルラダープロジェクトの PC タイプを変更します。
(サンプルラダーと流用先のプロジェクトの CPU タイプが元々同じ場合は本操作は不要です。)

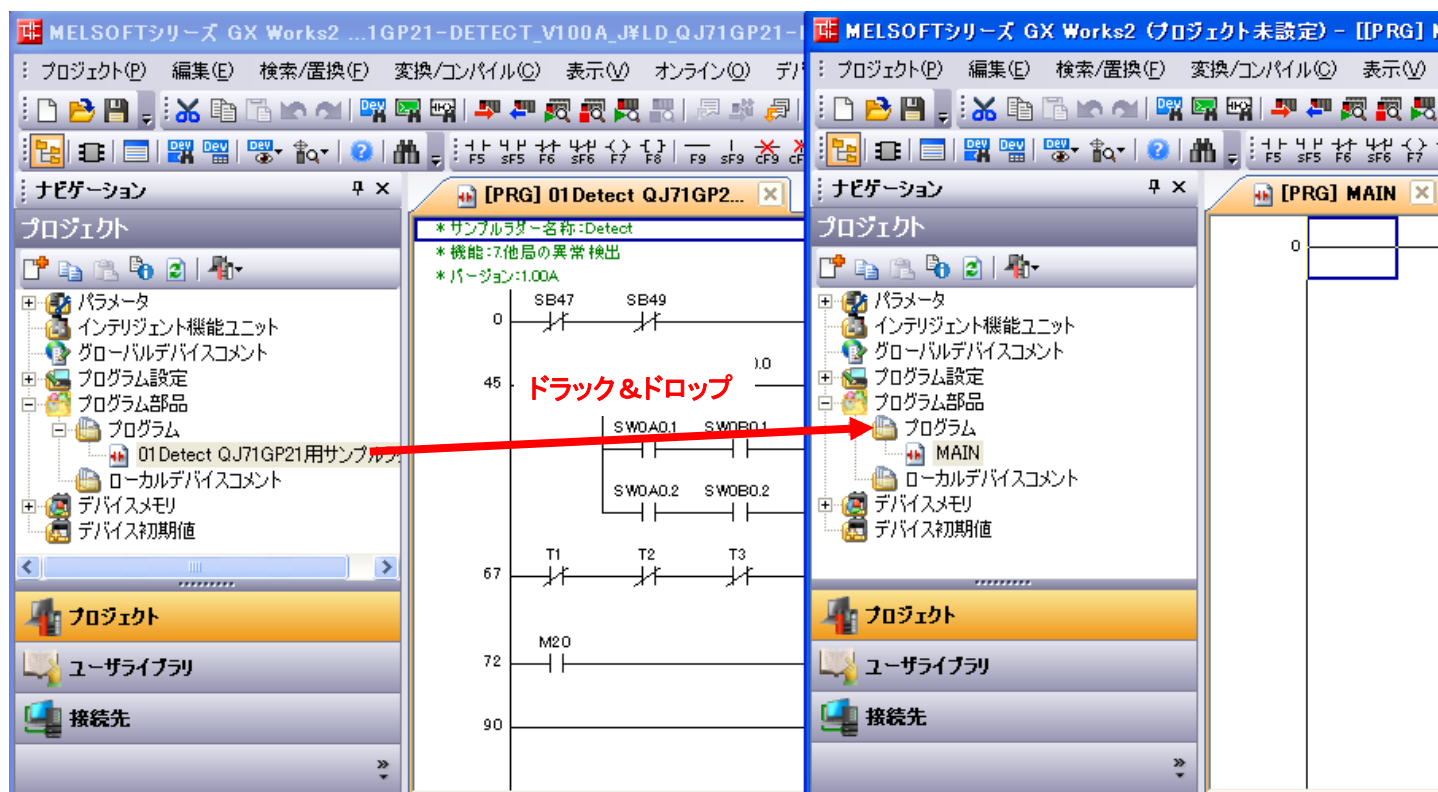


プロジェクト(P) – PC タイプ変更(H) を選択します。
変更した PC タイプを選択し、“OK”を押下します。(例では Q04UDEHCPU を選択しています。)

(7) 流用先プロジェクトを起動します。

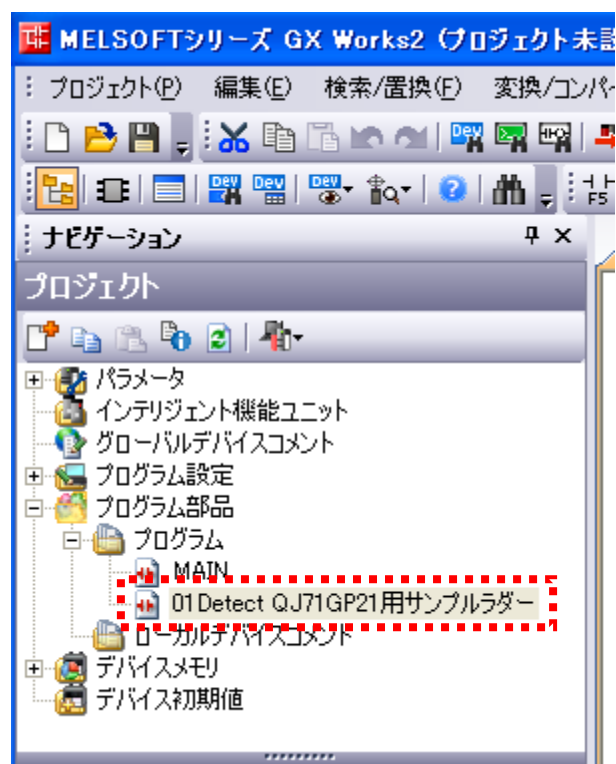


(8) プログラムをドラック&ドロップ



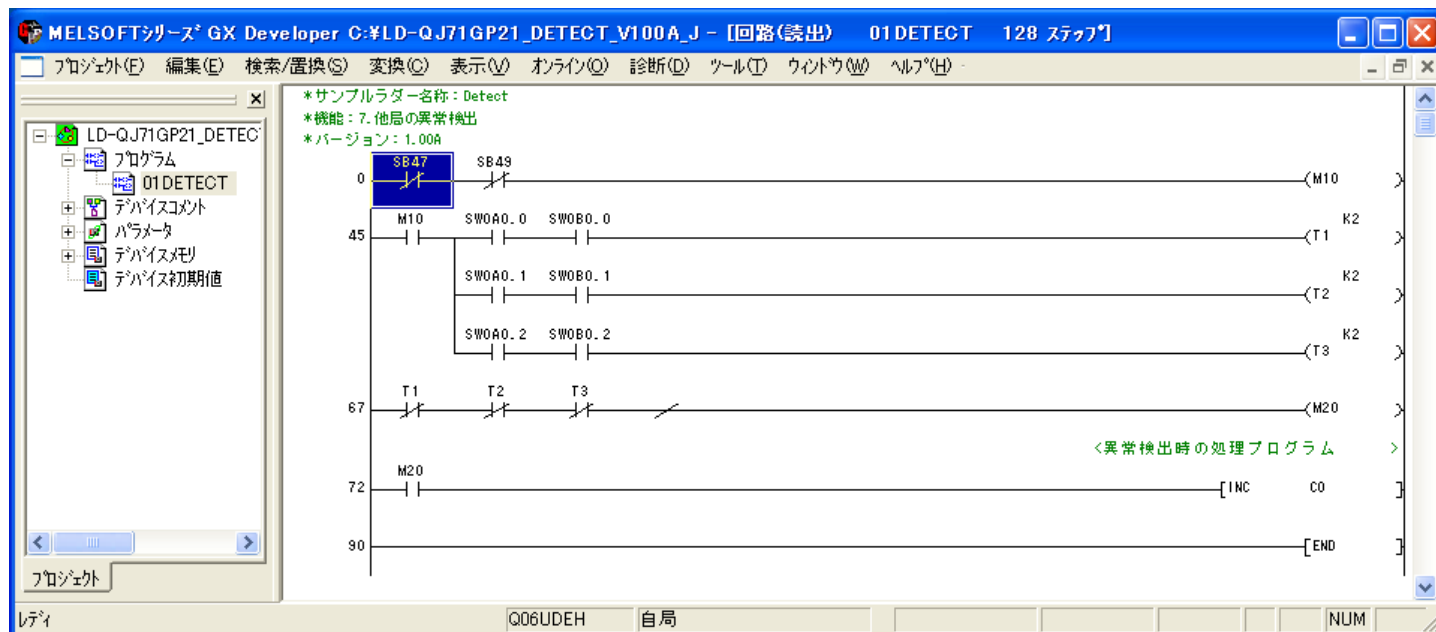
サンプルラダーのプロジェクトから流用したいプログラムを流用先プロジェクトにドラック&ドロップします。

流用先のプロジェクトにプログラムがコピーされます。



2. GX Developerの場合

(1) サンプルラダーのプロジェクトを起動します。



(2) PC タイプ変更

流用先のプロジェクトと同じ CPU タイプにサンプルラダープロジェクトの PC タイプを変更します。
(サンプルラダーと流用先のプロジェクトの CPU タイプが元々同じ場合は本操作は不要です。)

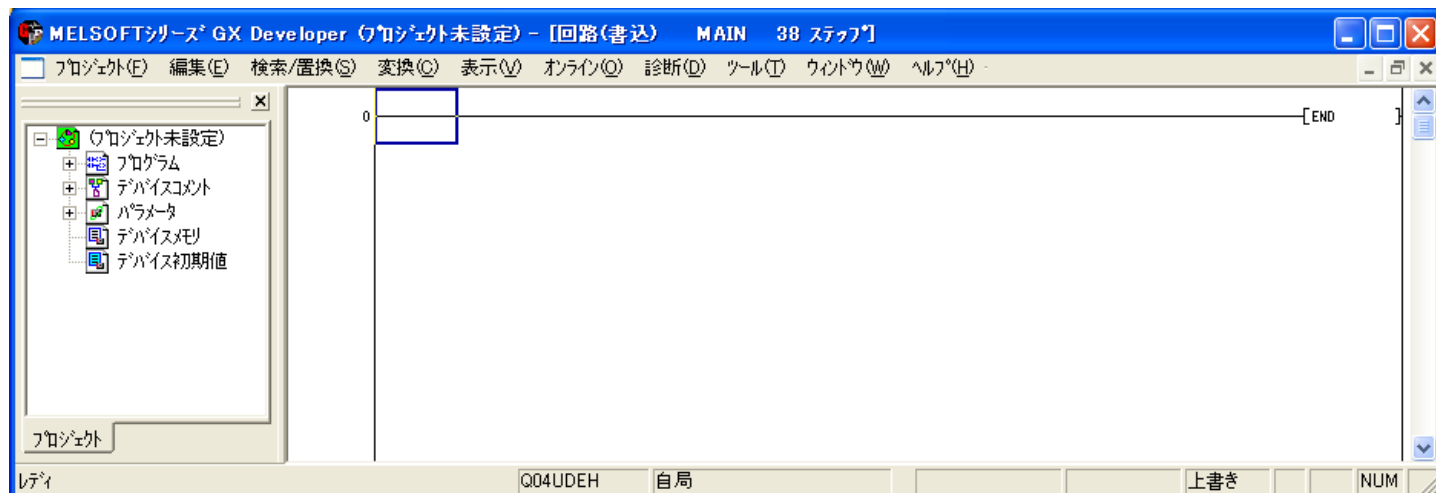


プロジェクト(E) - PC タイプ変更(H) ... を選択します。
変更した PC タイプを選択し、“OK”を押下します。(例では Q04UDEHCPU を選択しています。)

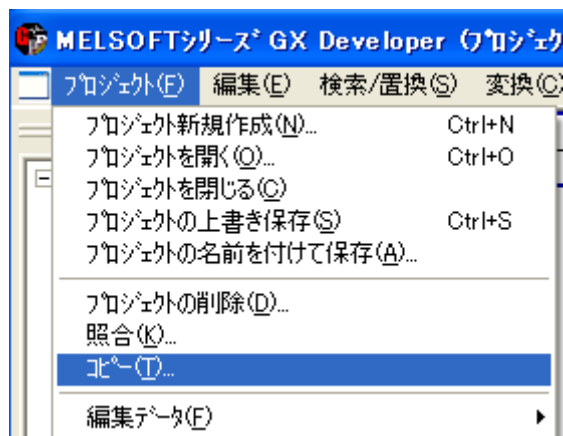
(3) プロジェクトデータの保存

プロジェクトデータを保存し、GX Developer を終了してください。

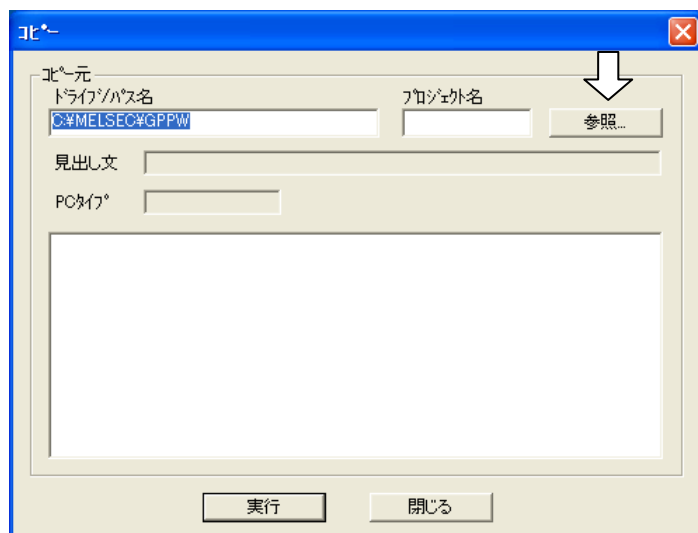
(4) 流用先プロジェクトを起動します。



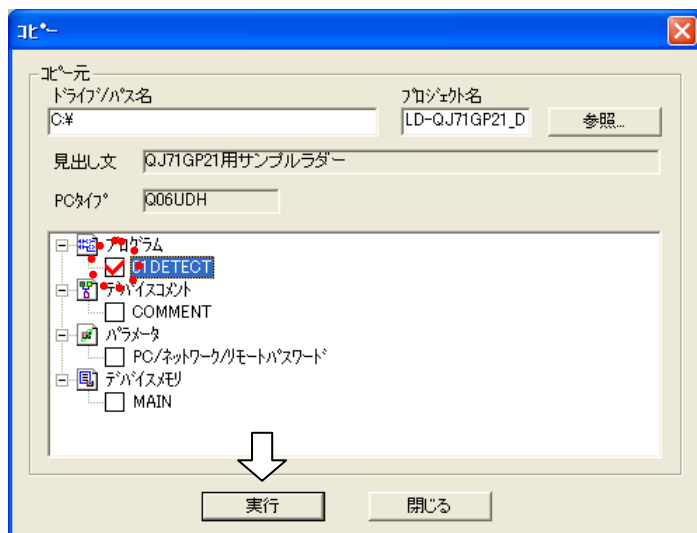
(5) プログラムのコピー



プロジェクト(E) - コピー(T)... を選択します。



参照を押下し、流用するサンプルラダーのプロジェクトを選択ください。



プロジェクト選択後、コピーするプログラムをチェックし、“実行”を押下します。
正常に完了すると“完了しました”メッセージが表示されます。

流用先のプロジェクトにプログラムがコピーされます。

